

## ○高野山研修旅行（2日目）の生徒の様子と感想



早朝に奥之院を参拝しました



本校の供養塔をお参りしました

### ☆生徒の感想（奥の院）

#### 1年 T.Kさん

奥の院には多くの供養塔がたくさんありました。どれも苔が生えていて長い歴史を感じることができました。歴史上の有名な人物の供養塔を見ることができ、場所や形にも意味があることが分かりました。特に、上杉謙信と武田信玄が今もライバル関係だということには、大変興味が湧きました。御廟橋を渡って以降は話さないことは知っていましたが、敷石を1枚ずつ、43歩で歩くことに驚きました。空海に食事を運ぶ場面（生身供）も見ることができ、貴重な体験をすることができました。

#### 1年 M.Yさん

朝はとても早くて正直バスの中では眠かったが、実際に一の橋に着いた時には、普段の生活とはかけ離れたような独特な空気を感じて、すぐに眠気がなくなった。様々な方々のお墓や御供養塔があり、これまでの人々が生きてきた証のようなものを感じて、気づかないうちに心の中で手を合わせていた。有名な武将や企業の供養塔も見つけ、横浜清風高校の供養碑も立っていて、しっかりと手を合わせてきた。その中、御廟橋を渡ると、すぐに空気が変わるのがわかった。奥の方にはお大師様の御廟があり、そこで般若心経をお唱えした。周りの雰囲気から、神聖な場所に立ち入っているということが実感でき、心が豊かになった気がする。

## ☆生徒の感想（写経）



写経実習の様子



一文字ずつ丁寧に浄書しました

### 1年 I.Rさん

午前中は大師教会で、写経の実習を行いました。集中して丁寧に怠ること、真剣に取り組むことができたと思います。実習の時間内に般若心経の全てを書き込むことはできなかったけれど、宿坊の部屋に帰ってから空き時間をつかって完成させることができました。奥の院には、過去の清風生が収めた写経を奉納する供養碑もあり、仏教校ならではの経験ができてよかったです。

### 1年 S.Sさん

多くの同級生たちと同じ空間で写経を実践した。慣れない姿勢で長時間集中力を維持しながら取り組んだので、途中で足の感覚がなくなってきて焦った。だから少しだけ正座を崩して深呼吸したり、ペンを置いてリラックスしたりして何とか乗り切った。写経の後のお坊さんの法話では、「食事とは、誰かに作ってもらって、そして私たちが頂いている。『命』を頂いているのです」等、あらためて気付かされることが多くあった。普段あまり食事を残したりはしないけれど、これからはもっと気をつけようと思えるようになった。